

令和6年度監査結果報告について

「令和6年度監査報告書（財務監査結果報告、行政監査結果報告及び財政援助団体等監査結果報告）」を、本日、監査委員が山中 竹春 横浜市長に提出しました。

監査委員	酒井良清	代表監査委員（横浜市立大学・神奈川大学名誉教授）
同	高品彰	（公認会計士・税理士）
同	前田一	（弁護士）
同	清水富雄	（市会議員）
同	大岩真善和	（市会議員）

結果報告

- ・ 監査した限り、重要な点において、対象となった事務が適正に執行されていることが認められました。
- ・ 事務処理ミス等の防止に向けた取組が効果を上げており、DXの推進や新たな事務手続等への更なる対応を期待します。
- ・ 一部の事務で確認された不適正な事項を指摘するとともに、意見を付しています。

1 監査の対象

主として令和5年4月1日から令和6年8月31日までに執行された事務等について監査を実施

- (1) 財務監査（経理事務及び工事関係）
- (2) 行政監査「DX推進について」
- (3) 財政援助団体等監査

2 監査の結果

監査の種別	財務監査		行政監査	財政援助 団体等監査	合計
	経理事務関係	工事関係			
指摘事項	318件	55件	—	65件	438件

3 監査を振り返って（抜粋）

監査の結果、DX戦略が順調に進展していることが確認できた。また、工事の安全管理において不適切な事例が減少するなど、各部署において事務処理ミス等の防止に向けた取組が進んでいた。一方で、新たな事務手続や変化するリスク等への対応が行き届いていない状況が見受けられた。

監査結果を踏まえたリスク分析と対応策の策定及び実施を確実にを行い、監査結果と連携した効率的、効果的な内部統制の取組を更に進められたい。

※ 詳細は別添「令和6年度監査報告書」及び「令和6年度監査結果報告の概要」参照

お問合せ先

監査事務局財務監査課長 大吉 進 Tel 045-671-3362